

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 56



院長  
江頭 啓介

さくら病院は今年4月で創立35年目を迎えました。1983年の開設時には病院の周囲には田圃が多く残り、梅雨になると蛙の合唱で患者さんから不眠のクレームを頂くほどでしたし、夏から秋にかけては沢山のゴキブリが病院廊下を徘徊していました。病院前の外環状線用地の空き地でキャッチボールをした事などを懐かしく思い出します。昨年11月28日、さくら病院は100m程南に新築移転し、病床機能を再編し、新しい診断機器により医療機能を高め、電子カルテを導入して新たな気持ちで診療を行っています。この35年で日本の社会はすっかり変わりました。高度経済成長時代が終わり、今は超低成長経済時代となりました。そして、高齢化少子化が急速に進行してきました。国民に安心安全な生活を保障してきた世界に誇る皆保険制度は、その財源をどう確保するかで大変な困難に直面しています。疾病構造が変わり、がん・糖尿病・高血圧・高脂血症・閉塞性肺疾患などの生活習慣と関連のある病気が増えてきました。医療は、健康維持促進や病気の治療という観点から、患者さん一人一人の食、運動、飲酒喫煙、環境など生活に長期に亘り係わる事が求められています。2025年の病院医療をどう提供するべきかという、福岡県地域医療構想も2月に策定されました。さくら病院職員一同は、これら必要とされる医療の役割に地域社会の中でしっかりと取り組み、福岡の地で地域共生社会作りにお役に立ちたいと願っています。なお一層のご指導、ご助言をお願い申し上げます。

# 心臓リハビリテーションを始めました

副院長 秋満 俊介・リハビリテーション科主任 郡山 雄太

## ～「心疾患は死亡原因の第2位!!」～

現在の日本における死亡原因は、第1位「悪性新生物（癌）28.7%」、第2位「心疾患（心臓）15.2%」、第3位「肺炎9.4%」、第4位「脳血管疾患8.7%」です。

心疾患は第2位というこの状況を踏まえたうえで、当院では「患者様に必要とされる医療を取り入れ、今後も質の高い医療を提供したい」との考えのもと、平成28年11月の新病院移転に伴い、新たに機器・設備を整え、心臓リハビリテーション（以下、心臓リハビリ）を開始しました。

## ～心臓リハビリの医学的な効果～

1. 運動することによって、酸素の取り込みがよくなる。
2. 運動能力が増加することによって、楽に動けるようになる。
3. 気持ちよい汗をかくことによって、不安やうつから解放される。
4. 狭心症や心不全の症状が軽くなる。
5. 生活習慣病の危険因子（血圧、血糖値など）がよくなる。
6. 血管内皮機能（血管が自分で広がる能力）がよくなり血液の循環がよくなる。
7. 自律神経のバランスや働きがよくなることによって、血圧や脈拍が安定し、不整脈が起きにくくなる。
8. 血液凝固因子が安定し、血栓ができにくくなる。
9. 心筋梗塞の再発や突然死が減り、死亡率が減少する（3年間で約25%低下）。
10. 心不全の死亡率や再入院率が減少する。

★心臓リハビリは表に示すような効果が期待でき、死亡率を56%減少させ、再発を28%減らすとされています。

## ～心臓リハビリって何!?!～

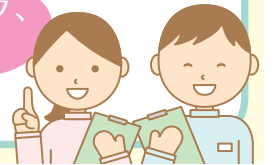
心臓リハビリとは、心臓病の患者様が低下した体力を回復し、精神的な自信を取り戻して社会や職場に復帰を目指すリハビリ治療の一つです。さらに心臓病の再発を予防し、快適で質の良い生活を維持することを目指して、運動療法、患者教育、生活指導、カウンセリングなどのプログラムに参加します。

中心的役割の運動療法に関しては、まず心臓病の状態を「心臓エコー検査」、「心電図検査」、「胸部レントゲン検査」、「血液検査」などから把握します。

そして、運動耐容能（持久力、有酸素能力、スタミナと易疲労性）を運動負荷試験や6分間歩行テストという評価と、自覚的運動強度（主観的運動強度）をもとに把握し、患者様に合わせた運動内容を決定して運動療法を行います。



心臓リハビリを行うには医師の診察と指示が必要となります。詳しくは、医師又はリハビリスタッフ、相談室へご相談下さい。



1月

25日(水)

いきいき公開セミナー

テーマ:「元気に食べ続けよう」

言語聴覚士 坂本 愛子

1月25日、新病院に移りましてはじめてのいきいき公開セミナーを『元気に食べ続けよう』という内容で実施いたしました。

毎日の食事をおいしく食べられることは、元気の源ではないでしょうか？

最近よく聞く誤嚥性の肺炎とはどうやって起こるのでしょうか？

どんな症状があれば、誤嚥していないか心配した方がいいのでしょうか？

誤嚥を起こさないように、何に気をつければいいのでしょうか？

日常、皆さんも疑問をお持ちではないかなという内容を、食事をするときに実際につかっている喉のあたりの模型を見ながら、説明させていただきました。

誤嚥性肺炎を起こさない、重症化させないためにも、まず、毎日できることから、最後に皆さんで嚥下体操を行いました。毎日行うのはなかなか大変です。いろいろな常識は日々変化していきますが、私が学生時代にある先生に聞いた歯磨き3・3・3（食後3分以内に3分間、一日3回）にちなんで、嚥下体操3・3・3（食前3分前に3分間、一日3回）を提唱させていただきました。また、質問でも出ましたが、食事をする前に口の中をきれいに（簡単なうがいをする事など）こともよいことだと思います。

最後まで、食べたいものを食べられる状態にいる為に、日々の生活を工夫したいものです。



## 睡眠時無呼吸症候群の検査をはじめました。

SAS(睡眠時無呼吸症候群)という病気をご存知ですか？ SASとは眠っている時に無呼吸状態になる病気であり、Sleep Apnea Syndromeと呼ばれています。無呼吸状態とは呼吸が10秒以上止まっている状態のことを言います。この状態が7時間に30回以上、もしくは1時間あたりに5回以上ある場合、SAS(睡眠時無呼吸症候群)と診断されます。

以下のような症状に心当たりはありませんか？

### 眠っている時

- ✓ いびきをかく
- ✓ 息が止まる
- ✓ 呼吸が乱れる
- ✓ 息が苦しくて目が覚める
- ✓ 何度も目を覚まし、トイレに行く



### 起きている時

- ✓ 記憶力や集中力の低下
- ✓ 性欲がなくなる
- ✓ 性格が変化する
- ✓ 眠気の持続
- ✓ 息切れがする



SASは太った人に多い病気だと思われがちですが、日本人などは痩せていても顎が小さいなどの顔の特徴からSASにかかる人が多くみられます。また狭心症や心不全、肺の病気にかかっていると、SASを悪化させる要因であるといわれています。

### 検査方法は？

まずは外来を受診した後、簡単な問診を行って頂き、簡易型検査装置によるスクリーニング検査を行います。検査自体は当院のスタッフからの指導後、ご自宅で行って頂きます。簡易的な機械をベルトで腹部につけ、鼻にカニューレをつけ、指先に小さなセンサーをつけて頂きます。後は、普段通りに就寝してください。後日機械を返却して頂き、その日から1~2週間後には結果をお知らせ致します。

ひとつでも心当たりや不安などがある場合、医師や看護師にご相談ください。



## リスクマネジメント委員会

新病院移転に伴い、ベッドサイドで大きく変わった点が2点あります。それぞれについて、使用方法やメリット、デメリットなどをお話したいと思います。

### ①ピクトグラムについて

各患者さんの床頭台に、移動方法や注意喚起のマグネットを貼っています。それにより病院スタッフやご家族とも、必要な情報を共有できるようになりました。

### ②起き上がりセンサー、サイドコールセンサーについて

旧病院ではベッドサイドの足元にセンサーマットを使用し、患者さんがマットを踏んだ事で反応してアラームが鳴り、看護師が駆け付けた時には既に転倒しているという事例が見られました。転倒のリスクを軽減する為、2つの離床センサーを導入しました。サイドコールセンサーは、患者が端座位になったときに鳴り、起き上がりセンサーはその名の通りベッドから起き上がったときに鳴ります。また、ナースコールと連

動しているため、PHSや部屋の入り口前の天井ランプが点灯し、何処で鳴っているかが直ぐに分かるようになりました。

新しい機器の導入やスタッフの努力もあり、転倒のリスク軽減に取り組んでおりますが、自ら動かれる患者さんの場合、完全に転倒を防止することは出来ません。ご家族のご協力・ご理解無くしては、安全な入院生活は送れないと考えております。

今後もリスクマネジメント委員を中心に全職員で、患者・家族が、安全・安心な療養生活を送ることができる様に頑張っ



## 医療サービスの基本方針

医療法人社団 江頭会 さくら病院は、「人を大切にすること」を基本理念として、良質の医療・介護サービスの提供と働きやすい職場づくりを行ってまいります。

そのために職員の人間性、知識、技術を向上させます。また、職員それぞれの能力を基盤とした組織づくりを継続的に行います。そのために以下の4点を推進いたします。

1. 患者、患者家族、地域住民の方々などの期待に応え、またその期待を越えるような医療・介護サービスを提供し、これを常に改善していきます。
2. 他の医療機関・介護施設との連携を行い、さくら病院の持つ医療・介護機能を地域の為に役立て、切れ目のない医療・介護サービスを実現します。
3. 地域包括ケアシステムの中核となる、地域に根ざした内科主体の総合診療能力を持った病院として、地域住民のための疾病治療・疾病予防・健康増進活動を推進します。
4. 法令・規制要求事項などを的確に把握し、遵守します。

2016年3月24日 医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長 江頭 啓介

## 病院の診療指針

- 1、一期一会を大切に
- 2、友愛ともにいたわりともに励ます
- 3、医療は信頼から
- 4、多忙な中にも対話を忘れずに
- 5、医療サービスは深い思いやりをもって
- 6、慢心は敵、安全医療に徹する
- 7、快適な職場づくりはひとりひとりの心掛けから
- 8、救急協力は無償の愛をもって
- 9、向上心をもって医療に取り組む

## 看護サービスの基本理念

- 1、人とのふれあいを大切に、安全で思いやりのある看護・介護を行う
- 2、医師及び他職種と協働し、チーム医療を推進する
- 3、専門職としての自覚を持ち、知識・技術・人間性の向上に努め、看護・介護の質を高める
- 4、保健・医療・福祉との連携を図り、地域包括ケアを推進する
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で継続的に組織を変革する

### さくら病院の患者権利7カ条

患者様は「患者中心の医療」の理念のもとに、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っています。また、医療は、患者様と医療提供者とがお互いの信頼関係に基づき、共同してつくり上げていくものであり、患者様に主体的に参加していただくことが必要です。地域の皆様の生命と健康を守ることを使命とするさくら病院は、このような考え方に基づき、ここに「患者権利7カ条」を制定します。

さくら病院は、「患者権利7カ条」を守り、患者様の医療に対する主体的な参加を支援していきます。

1、だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。

さくら病院は患者様に対して常に公平であるとともに、適切で安全な医療の提供や、医療の質の向上を目指して知識・技術の研鑽に努めていきます。

2、だれもが一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

さくら病院の職員は、患者様の個々の人格や価値観などを尊重し、両者がお互いに協力し合いながら医療をつくり上げていくよう努めます。

3、病気、検査、治療、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受け、治療方法を自分の意思で選ぶ権利があります。

さくら病院の職員は、患者様とのコミュニケーションを大切にし、患者様の理解を助け、納得が得られるように努めていきます。また、治療方法の選択については患者様の意思を尊重いたします。なお、別の

医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいという御希望も尊重いたします。

4、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者様とさくら病院は診療情報を共有しつつ、共同作業者として治療を進めてまいります。

5、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

さくら病院は、個人情報秘密の保持や私生活をみだりにさらされないようにという患者様のプライバシーの権利について、厳正に取り扱ってまいります。

6、納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けても良く理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する権利があり、同時に治療の指示を守る義務があります。

患者様が、治療等に関する十分な説明や情報提供により納得のいく医療を受けていただくために、そして治療法等を自分の意思で選択していただくためにも、分からないことがあれば何度でもさくら病院職員に質問していただくようお願いいたします。

7、すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する義務があります。

病院では、職員が数多くの患者様に様々な医療を提供しています。そのため、患者様は通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ないこともあります。このことを十分御理解していただき、適切な医療の提供に御協力くださるようお願いいたします。

福岡市救急病院協会

海外救急医療施設研修

医師 楠原浩之・事務次長 松本正幸

福岡市救急病院協会主催の海外救急医療施設研修に2月6日から4泊5日の日程で参加しました。

米国ハワイ州ホノルルにあるクイーンズメディカルセンターの視察では実際のERを見学することができました。クイーンズメディカルセンターのERではハワイ州全体から年間6万人の救急患者を受け入れているそうです。小児救急では、身長を測定した時点で薬剤の用量、ブレード、挿管チューブサイズなどが一目でわかるプラスローという器材が使用されていることなどの説明を受けました。JOHN A BURNS SCHOOL OF MEDICINEではアメリカの医療の現状や医療教育について講義を受けました。

自由行動の時間は、日頃お会いすることの少ない他の医療機関の様々な職種の方々と一緒にダイヤモンドヘッドやワイキキビーチなど、ハワイの観光スポットに行き大変楽しい交流を持つことができました。



平成28年度入職者一覧

平成28年4月

吉岡 伸子  
仁田 奈津美  
瀬口 渉  
川釣 拓哉  
畑島 美穂  
高木 慎晃  
竹中 維奉子  
東 幸子  
宗 由美  
田中 千恵  
安田 明穂  
藤井 洋子  
工藤 勝也  
杉本 純子

5月

吉岡 創  
中野 浩子  
江頭 省吾  
池田 祐一

6月

山地 夏美  
北島 紀子

7月

鶴田 毅  
松岡 志保

8月

相良 有香  
宗像 幹男

9月

舟森 文  
尾崎 りえ

10月

酒井 俊彦  
末信 淳子  
上原 美夏  
内田 貴代子

11月

吉次 璃子  
三栗野 直子

12月

東 ゆかり  
有吉 幸江  
行武 トシ子  
河野 彩子

平成29年1月

白石 里美

2月

吉田 このみ  
川上 敬子

3月

管野 菜美  
島田 順子  
笠 むつみ

平成28年度 さくら病院活動報告

H28年 4月	新入職オリエンテーション(前期) いきいき公開セミナー
6月	消防避難訓練(前期) 28年度 第1回 ボランティア・スタッフ学びと交流のつどい
7月	第18回 さくらフォーラム いきいき公開セミナー
8月	第17回 さくらグループ業務改善コンテスト 28年度 第1回 医療安全管理研修会
9月	第3回 さくら交流会
10月	新入職オリエンテーション(後期) いきいき公開セミナー
11月	さくら病院新築移転 28年度 第2回 医療安全管理研修会
12月	消防避難訓練(後期) キャンドルサービス
H29年 1月	いきいき公開セミナー
2月	さくら病院新年会 城南保健所立ち入り検査 28年度 第2回 ボランティア・スタッフ学びと交流のつどい 28年度 第3回 医療安全管理研修会

部署  
紹介

# 医療連携相談室

医療連携相談室は医療ソーシャルワーカー3名、看護師2名で以下のような業務をおこなっています。

## 1. 入院・受診に関する相談

患者様・ご家族、他の医療機関、地域包括支援センター、ケアマネージャーなどからの入院や転院・外来受診のご希望にお応えしています。

## 2. 退院に関する業務

入院中の患者様が退院される時に患者様の病状や介護度・日常的な動作・経済的な状況などをもとにご本人・ご家族と話し合って退院先を探したり、介護保険の説明や在宅サービスについてのご相談をお受けしています。

## 3. 経済的な相談

医療費などでお困りの時はお話を伺い、解決に向けて一緒に考えさせていただきます。

## 4. 病院ボランティアさんの支援窓口として「さくら病院ボランティア・スタッフ学びと交流のつどい」を開催しています。

## 5. 「患者サポート窓口」として患者様・ご家族からのご意見・ご要望をお聴きし、さくら病院のサービスの改善に繋げていきたいと考えています。

その他お困りのことがありましたらご相談ください。すぐに対応できないこともございますので事前にお電話をお願いします。



## さくら病院 医療連携相談室

月～金 9:00～17:00

土 9:00～12:00

☎ 864-1245 (直) Fax 864-1213 (直)

E-mail: soudan@sakurahp.or.jp



臨床心理士は、外来や入院中の患者さん、ご家族の心のケアを担当しております。

## 「病と向き合う患者さん・ご家族のストレス」

突然の病気、長期にわたる療養生活でストレスを抱える患者さんが少なくありません。また、介護されるご家族も、患者さんと同様のストレスがかかっていると言われております。

療養生活のストレスにより、不安や怒り・落ち込みなどいつもと違う心の反応がでてくる場合があります。しかし、これらの心の反応は、疲れた状況では誰でもおこりうるごく自然な反応です。

大切なのはストレスを我慢して無理することではなく、ストレスがあっても上手く対処できるようになることです。カウンセリングを通して、自分の心の動きに耳を傾けることも、ストレスを和らげる助けとなります。

## 「相談方法」

心理士の相談を希望される際は、看護師や医療相談員などのスタッフにお声をおかけください。

人に悩みを話すのは抵抗がある方も多いかもしれませんが、思いきって相談をされてみませんか。



**Merry Christmas**

**2016年12月22日、恒例のキャンドルサービスを行いました。**

キャンドルを片手に、クリスマスソングを新病院に響かせました。一緒に歌ってくださった患者さん、ご家族の皆様、ありがとうございました。皆様の笑顔に私たちも癒されました。

さくら病院

## ペット自慢

PET

キキ

コニー

ココア

ちびキリ

宮田さんちの



宮田さんちのセブなにゃんこ達♡

吉次さんちの

ハル



毎日元気にはしゃいでいます。

小深田さんちの

ラビちゃん  
(男の子)



ピーターラビットのモデルになった  
うさぎちゃんネザーランドドワーフです。  
今年で6歳になりました。  
まだまだ元気いっぱいです。

郡山さんちの

ふうちゃん



チンチラという動物です。  
今年で9歳になりました。

チョコ  
ちゃん

小林さんちの

白太郎  
君



14歳の左チョコちゃんと2歳(8キロ)のしー君です。  
毎日癒されています。

山内さんちの

ビスケ

中野さんちの



必ず誰かの膝の上に乗っている  
甘えん坊さんです。

竹下さんちの

ケリー



13歳です。  
下半身に麻痺があり、オムツを使用していますが、  
元気いっぱいのおばあちゃんです。

とら



病気の治療中で  
エリザベスカラー装着しています。  
早くカラー外れて思いっきり食事がしたい。

こんにちは!

## 医療連携相談室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

医療連携相談室では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただきます。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

### 医療連携相談室

TEL 092-864-1245 (新設しました)

FAX 092-864-1213

**担当者** 医療連携相談室長  
江頭省吾  
療養支援看護師  
井上富士子  
医療ソーシャルワーカー  
小川美和・松山章子・橋迫千佳・川口康子



**相談受付** 平 日:午前9:00~午後5:00  
土曜日:午前9:00~午後12:00

## 外来診察表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭 芳樹 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	天野 角哉 内科/消化器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	早田 哲郎 内科/消化器内科
	第2診察室	堀端 智子 内科/消化器内科	村上 修二 内科/診療内科	岩崎 敬雄 リハビリテーション科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診察室	江頭 省吾 内科/循環器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	西本 好徳 内科/消化器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	井手 均 糖尿病内科
	第5診察室		矢野 祐依子 循環器内科	天野 角哉 内科/消化器内科	温 麟太郎 呼吸器内科	古屋 陽子 内科/消化器内科	日吉 哲也 総合内科
	第6診察室	楠原 浩之 内科/消化器内科					
	第1診察室	古屋 陽子 内科/消化器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	佐々木 秀法 腫瘍血液内科	日吉 哲也 総合内科	堀端 智子 内科/消化器内科	
午後	第2診察室	村上 修二 内科/診療内科	西本 好徳 内科/消化器内科	林 優佳 神経内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	
	第3診察室	秋満 俊介 内科/循環器内科	島津 麻理子 糖尿病内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	河野 智愛 糖尿病内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
	第5診察室		山崎 繁通 消化器外科	佐々木 靖 循環器内科		中園 智美/乙成 淳 心療内科	
	第6診察室				楠原 浩之 内科/緩和ケア内科		
	専門(予約)外来	午前 川添 神内内科 村上 心療内科	午後 村上 心療内科 矢野 循環器内科	島津 糖尿病内科	岩崎 リハビリ外来	佐々木(秀) 佐々木(靖) 血液・腫瘍外来 循環器外来(別室)	温 麟太郎 呼吸器内科

## 病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線/福大前下車1番出口より徒歩10分
- 都市高速/堤ランプより車で3分
- 車/天神より約30分(本館地下に専用駐車場があります)
- バス/西鉄バス(さくら病院前バス停下車)の場合
  - 天神方面より:協和ビル前のりば片江(当)行.....13番
  - 西鉄大橋駅より:.....外環700番
- 西鉄バス(西片江一丁目バス停下車)の場合
  - 天神方面より:警固神社・三越前のりば片江(当)行.....114番
  - 協和ビル前のりば片江(当)行.....12・140番
  - 西新・飯倉方面(脇山口)より:.....95番
  - 博多駅方面より:博多駅前のりば片江(当)行.....16番
  - 博多バスターミナル片江(当)行.....12・114番
  - 松原・片江方面より:.....6・12・16・95・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院 サービス付き高齢者向け住宅 社会福祉法人 桜花会 社会福祉法人 桜花会 社会福祉法人 桜花会  
在宅医療介護センターさくら ホスピコート長尾 ライフケア大手門 特別養護老人ホーム ライフケアしかた ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/>

直通TEL 1内科 092-872-5611  
事務所 092-801-7386 2内科 092-872-5612  
ユニット 092-872-5615 3内科 092-872-5613